

# OEC

～自然と環境の保全は足元から～  
特定非営利活動法人おきなわ環境クラブ（OEC）  
**ニュースレター**

vol.26

2016年6月発行

## 【1面】

- ・さがりばな観賞会 今年も開催！
- ・次のステップへ～新体制と事業～

## 【2面】

- ・環境教育の場創り事業
- ・JICA草の根プロジェクト  
ホップ・ステップ…!?
- ・楽しかった  
OECやんばるバスツアー！

## 【3面】

- ・マングローブのつぶやき～その8～
- ・『島嶼水環境の保全と管理』コースを実施
- ・平成28年度定期総会

## 【4面】

- ・活動実績
- ・活動予定

## トピック① さがりばな観賞会 今年も開催！

おきなわ環境クラブが主催する一大イベント「さがりばな観賞会」を、開花に合わせ那覇市内で開催する。

サガリバナは水辺に生える植物で、夏の夜に花房をさげ、白やピンクの花を一夜限り咲かせる。この開花の様子は「夏の夜の花見」として昔から親しまれてきた。

おきなわ環境クラブでは、サガリバナを活用して地域活性化につなげ、沖縄県下でサガリバナの祭典「バリンントニア・フェスティバル（“バリンントニア”はサガリバナの学名）」を開催することを目指し、設立当初よりサガリバナのライタップを実施してきた。将来的には、宮古島環境クラブが開催する「添道サガリバナ夜のお花見」をはじめ、他の観賞イベントとも連動したいと考えている。

今年は次の3箇所で観賞会を開催する。年間で一番花盛りなこの時期に、サガリバナの艶やかな香りに包まれる「夏の夜の花見」に、どうぞ皆様ご来場ください。

### ▼国場集落(6月25日)

樹齢50年以上になる大木のサガリバナが圧巻。

### ▼首里崎山町(7月2日、3日)

約300mにわたるサガリバナ並木は「おきなわ花と緑の名所100選」にも選ばれており、自治会の民謡・舞踊が人気。

### ▼末吉公園(7月9日、10日)

都会の中に貴重な自然が残されており、約20本のサガリバナが迎える。

(業務チーム)



昨年度サガリバナ観賞会の様子

## トピック② 次のステップへ～新体制と事業～

おきなわ環境クラブは、今年度から新しい体制で活動を始めた。

業務チームでは、これまで国内チームとして取り組んできた緑化活動や環境学習プログラム提供事業を発展させ、「環境教育の場創り事業」として、国場川河口域とうるま市州崎をフィールドに展開する（トピック③参照）。

また、活動資金を得るために自主事業にも力を入れる。これまで通り学習旅行グループに対してプログラムを提供するほか、「CSR活動支援」では企業のCSR活

動の企画・実施のお手伝いを、また「出前講座」では自然・環境を体験・学習するイベントへ有料で講師を派遣する。

研修・草の根チームでは、新たに「研修支援事業」として、JICA研修をはじめ、他の組織が実施する研修や講習会などの支援を行う。また、JICA草の根技術協力事業を受託し、NGOとしての海外での支援活動も開始する。

自立した環境NPOとして、専門性を活かした新しい体制で、昨年設立した（株）OEC企画と連携しながら、新しい

事業へも挑戦していきたい。

(事務局長 立田亜由美)



新しい体制

### トピック③ 環境教育の場創り事業

おきなわ環境クラブは、国場川河口流域両岸を主なフィールドとしてワークショップやボランティア活動に取り組んできた。今年度は、設立当初活動拠点としていたうるま市州崎のマングローブテラスも積極的に活用していく計画だ。

この2か所で、①植栽計画に基づいた環境整備、②教材やプログラム開発、③地域のNPO団体や市民団体、企業との協力体制づくりを実施し、「環境教育の場

創り」を実践する。今年は①の活動にセブンイレブン記念財団から緑化植花助成金の支援をいただき、たくさんの苗をそろえることができるようになった。

こうして環境教育の場を整え、地域の皆様や学習旅行グループ、企業のCSR活動などへのプログラム提供の場として積極的に活用し、より多くの方に水辺の自然と環境の保全について関心を持っていただく機会を提供することを目指している。



植栽の様子

(主任研究員 末長昭光)

### コラム マングローブのつぶやき ~その8~ 漫湖のマングローブは害樹か?

『自然』とは「山川・草木・海など、人類がそこで生まれ生活してきた場。特に、人が自分たちの生活の便宜からの改造の手を加えていないもの」と広辞苑に書かれている。例えば、国場川河口『漫湖』には、橋や護岸・排水・堆積泥など人手が加わった物と、そうでない元々あった岩や砂泥、雨(川)の水・海水・空気などが混在する。つまり、そこは『半自然』or『人工の自然』と呼べる『場』と言える。

沖縄の河口や湧(陸)水が海水と混じり合う浅瀬(汽水域)には、メヒルギやオヒルギ、ヤエヤマヒルギなどのマングローブが『自然』に生育・分布している。ラムサール条約登録湿地の『漫湖』は、埋立てや流域の開発などで河口と湖面が狭められ、湖底に砂泥が堆積したため浅くなってしまった。ここへ渡来する水鳥が減少しているため、マングローブ、とりわけメヒルギの広がりが問題になってきた。

メヒルギの広がりは、一部に人が植えた部分があるものの、国場川と饒波(のは)川の下流に元々あったメヒルギの胎生種子が、流域から流れてきた『砂泥やごみ』の堆積によって湖底が浅くなり、マングローブの生育条件に合致したため起きたと推測する。『漫湖』は『街なかのマングローブ湿地』として沖縄の自然のあり方を『議論』し、その結果を検証する『実験』を行い、そして楽しい『街中のエコツーリズム』を展開する最適な場であると言える。

(会長 下地邦輝)



マングローブに留められた漂着ごみ



伐採された漫湖右(北)岸のヒルギ類



湿地センター木道から生き物の観察

### トピック④ JICA草の根プロジェクト ホップ・ステップ...!?

インドネシアの真ん中あたりに、Kの字



サンゴ礁生態系が非常に豊かなインドネシアの海

のような形をしたスラウェシ島がある。その南東の海洋に浮かぶ小さな島々から成るワカトビ国立公園(ワカトビ県)で、近く3年間のJICA草の根技術協力プロジェクトを開始予定である。ワカトビ県の4つの島の北端、ワンギワンギ島が赴任地。

旅行本にはワカトビの情報はほとんどないが、ダイビングスポットとしては有名。現地ガイドブックには魚類590種、サンゴ類396種(宝石のようなサンゴ礁がみられる八重山は300種以上と聞く)と書かれており、現地の竜宮には期待が膨らむ。

プロジェクトでは、ワンギワンギ島北部7村を対象に、地域資源を活かした住民参加の観光開発を支援するのだが、現在開始に向けてインドネシア政府と調整中。パートナーである現地開発企画局は色々と協力的で、幸先の良いスタートが切れそうだ。

(研究員 山本朝子)



ツアーの最後に記念撮影をして、楽しい思い出となった

### トピック⑤ 楽しかったOECやんばるバスツアー!



チーム戦では素敵な景品をかけて大盛り上がり♪

植物が潤い花開く季節“うりづん”の3月12日(土)に、おきなわ環境クラブ(OEC)主催で東村の自然を満喫するバスツアーを開催した。

このバスツアーでは、当クラブの会員さんを中心として普段お世話になっている個人・団体の方々にご参加いただき、慶祝次のマングローブや、東村指定天然

記念物のサキシマスオウノキを観察した後に、東村立「山と水の生活博物館」の屋内展示室をガイドの解説付きで見学した。

お昼にBBQを楽しんだ後、隣接する福地公園にて参加者・スタッフの交流レクリエーションを行い、最後に「第34回東村つづじ祭り」で花見をするという盛りだくさんの内容だった。ツツジは3分咲き程度だったが場所によっては満開に近く、沖縄特有の自然を満喫することができた。

初めて行うバスツアーだったが、約40名が参加し、終始笑顔でツアーを楽しむことができた。特に交流レクレーションでの皆さんの素敵なお笑顔が印象的で、ツアー企画者としての大変嬉

しかった思い出が残った。「2回目のバスツアーも是非行きたい」という声も多数。今年度も満足して頂けるような企画を考え、皆さんと一緒に楽しく自然を満喫したい。今後ともOEC交流バスツアーをよろしく!!

(研究員 当山昌治)

### 報告① 『島嶼水環境の保全と管理』コースを実施

この研修はJICA沖縄国際センターからの委託で、これまで3年間実施してきた。今回で4年目の研修で、島嶼7か国から水環境の保全及び水資源の供給・管理に携わる政府/NGO職員7名が来日し、1月12日から約2ヶ月間、沖縄本島・宮古島・石垣島・渡嘉敷島をフィールドに勉強した。

農業などの産業用水と私たちの生活用水について、水源流域の保全や浄水と供給のシステム、産業活動や生活から出される排水と廃棄物の浄化処理法、それらのモニタリングや啓発教育など水環境の保全と管理の手法の習得を目指した。過去3回の経験を踏まえてカリキュラムを見直し、天水など

の簡易な浄化処理法や水質試験の講義・実習を加えたことで、研修員からは、自分の国や地域の事情に適した内容であったとの感想をもらった。また、視察受け入れや講義・実習をお願いした組織の皆様には、私たちを快く受け入れていただき、研修員からの熱心な質問にも丁寧な回答をいたただくなど、大変お世話をなったため、感謝申し上げたい。

今後も、研修員にとって効果的で有意義な研修を実施していきたい。

(主任研究員 矢野誠)



生物浄化法のモデル作成実習の様子 中本先生と共に

### 報告② 平成28年度定期総会

去る5月20日に定期総会を開催した。例年通り、前年度の活動報告・決算報告、今年度の活動計画・予算案が協議されたりほか、新しく賀川健二理事の就任が承

認された。

平成27年度活動報告と決算書はホームページ([www.npo-oec.com](http://www.npo-oec.com))に掲載。(事務局長 立田亜由美)

# 活動実績（2016年1月～5月）



みんなで苗作り!サガリバナ講座

## 【地域活動】

- ◆国場川ワークショップ  
(1月30日・3月19日)
- ◆水辺の緑化ボランティア活動  
(2月20日・4月23日)
- ◆那覇市環境啓発事業：主催事業  
(1月17日)  
「街中のマングローブ探検と  
マングローブクラフト工作」

## ◆第1回おきなわ水環境セミナー

(2月3日)

◆つづじを満喫!OECバスツアー  
(3月12日)※会員交流企画

## 【国際協力】

- ◆受託事業  
①JICA研修員受入事業：課題別研修  
島嶼水環境の保全と管理  
(1月12日～3月4日)

# 活動予定（2016年6月～11月）

## 【地域活動】

- ◆さがりばな観賞会：  
国場集落(6月25日)  
首里崎山町馬場通り(7月2日・3日)  
末吉公園(7月9日・10日)
- ◆水辺の緑化ボランティア活動
- ◆JICA国際協力・交流フェスティバル  
(11月上旬)

## ◆おきなわアジェンダ21

県民環境フェア in 浦添(11月27日)

## 【国際協力】

- ◆受託事業  
①JICA研修員受入事業：課題別研修  
「島嶼環境持続性強化」  
(7月4日～8月19日)

## 「熱帯・亜熱帯エコツーリズム企画・運営」

運営

(9月下旬～11月下旬)

(7月11日～8月25日)

## ②JICA研修員受入事業：国別研修

## ④JICA草の根技術協力事業

## 「ミクロネシア3国水衛生管理」

「南東スラウェシ州ワカトビ県における地域に

(12月下旬～1月下旬)

根差した環境保全型観光開発の推進」

## ③研修支援事業

企業局「島嶼における水資源管理・水道事業



出前講座で街なかのマングローブを観察

## お知らせ

### 会員・ボランティア募集

地域の方々が水辺環境に親しんでいただく事を目的に、漫湖公園の河岸で緑化活動を行っています。今年度継続的に参加して下さるボランティアを募集します。お気軽に電話やメールでご連絡下さい。



※会員申込みはホームページから  
お願ひいたします。



那覇の街なかにありながら、豊かな自然や歴史をもつ干潟「漫湖」。専門ガイドと一緒に干潟やその周辺の生き物・歴史に出会うツアーに出かけましょう!  
詳細は株式会社OEC企画ホームページへ  
<http://www.oecplanning.com/>

観察会・出前講座・CSR活動を随時開催。  
お問合せはお気軽に♪

**特定非営利活動法人  
おきなわ環境クラブ**

O E C

〒902-0075

沖縄県那覇市国場370番地307号室

TEL 098-833-9493

FAX 098-833-9473

ホームページ

<http://www.npo-oec.com>

e-mail kokuba@npo-oec.com

www.facebook.com/OkiEnv

